



地盤工学会は、地盤力学の基礎から、調査・設計・施工、そして防災・環境保全までをトータルにプロデュースしています。また、地盤工学に関する膨大な技術力の蓄積と交流をより一層推進していくために、国際会議やシンポジウム・研究発表会などの開催、学会誌や各種刊行物の発行、各種地盤工学会賞による研究活動のバックアップなどを行っています。

関西支部は、特に関西地域の社会への貢献、学術技術の進歩の促進、技術者の資質向上を目指して、一般市民に向けた活動など公益性を有した事業を行っています。

## 関西支部主催の行事

- Kansai Geo-Symposium
- 建設現場見学会
- 若手セミナー
- 特別会員・個人会員(シニア)向け講演会
- 施行技術報告会
- 研究委員会 成果報告会

## 関西支部主催の講習会

- 実技セミナー(実験・調査技術等の講習)
- 最新技術および最先端研究成果の講習会(年数回適宜)

令和2年度

- ✓ 宅地地盤の品質評価に関する技術講習会

## 研究活動

### • 斜面災害のリスク低減に関する研究委員会(H30～R3)

全国に数十万箇所あるとされる危険斜面の内、その多くが関西地域にも存在し、それらはこれまでに体験したことのないような豪雨や地震の際に不安定化し、未曾有の災害を起こしかねないという危険を孕んでいる。本研究委員会では、産官学の技術者・研究者が結集し、斜面災害に関するリスクを低減するための情報収集と分析に関する技術、斜面補強対策に関する技術、リスク低減に関する技術情報の普及と教育等について最新の情報を共有し、実務に供し得る新しい価値を生み出すことを目指した研究活動を展開することを目的としている。

### • 地盤工学分野におけるICT活用促進に関する研究委員会(R1～R3)

近年のICT技術の急速な発展・普及に伴い、建設分野においてもICT活用の推進が活発化している。期待の高まるICT活用の機運を、導入期から成長期、成長期から成熟期へと発展させていくためには、自由な発想による多様なICT活用法の創出と、その実施がプロフィットとなるような仕組み作りが重要である。本委員会では、産学官からなる横断的なメンバーを構成し、地盤工学分野におけるICT活用法の技術交流を行い、新たな技術の開発促進を図るとともに、それらを広く一般に普及させるための調査・研究を行う。

### • 夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会(R3～R5)

大阪ベイエリアに位置する夢洲は、都市域へのアクセスにも優れた関西地区の重要な土地資源であり、大阪万博や統合型リゾートの用地として今後建設事業の増加が見込まれている。一方で、夢洲は浚渫土、建設発生土及び廃棄物で造成された人工島であるため極めて複雑な地盤構造であり、様々な工学的課題を有している。本委員会では、産学官で横断的にメンバーを募集し、上記事業の円滑な実施の一助となるべく、過去の埋立て履歴、既存データの整理、地盤構造のモデル化、及び今後の沈下予測等を行う。

### 地域地盤研究会(福井、和歌山、滋賀)

福井、和歌山、滋賀地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、地域内の活動をより活発にするため、定例勉強会、講演会、現地調査などを実施しています。

### • 関連行事

- ▶ 福井地域地盤研究会(年2~3回, 福井市, 共催:福井県建設技術公社, 後援:NPO福井地域地盤防災研究所)
- ▶ 和歌山地域地盤研究会(年1~2回, 和歌山市)
- ▶ 滋賀地域地盤研究会(年1~2回, 滋賀県)

## 一般市民向け、社会貢献、その他の活動

### ・ 災害時の緊急調査の実施

国道交通省 近畿地方整備局および地盤工学会関西支部を含む5学会は「災害時における調査の相互協力に関する協定」を結んでおり、関西地域で発生した自然災害の調査を行っています。

### ・ 地盤工学広報企画委員会

関西支部地域に在住する一般市民や小・中・高校生を主たる対象とし、土や地盤に関連する様々な事柄について興味と関心を持ってもらい、地盤工学に関する関心を高めることにより社会貢献を行うことを目的に、種々の活動を行っています。

市民特別講演会、ふるさと診断ウォーク、出前授業、学生対象見学会

## 関西支部の発刊書籍

地盤工学の学術及び調査研究の成果を出版する事業を行っています。

尚、地盤工学会本部発行の書籍は地盤工学会本部HP([www.jiban.or.jp](http://www.jiban.or.jp))よりご購入下さい。

書名	シリーズ	発行年	会員特価 (税込)	定価 (税込)
土はおしゃべり	広報企画委員会発行		500	500
それゆけ！土の調査隊（解説編）	広報企画委員会発行		500	500
<i>Kansai Geo-Symposium</i> 2014,2015,2018（CD-ROM版）	シンポジウム	2014～ 15.2018	1,000	1,000
<i>Kansai Geo-Symposium</i> 2020,2021（CD-ROM版）	シンポジウム	2019～ 2020	1,500	1,500
最近の建設技術と施工事例 平成28, 29, 30, 令和元年度	施工技術報告会	2008～ 2019	2,000	4,000
南海トラフ巨大地震に備えて ～南海トラフ巨大地震に関する被害予測と防災対策研究 委員会 成果報告書～	研究委員会報告	2016	2,000	8,000
斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究委員会 報告書	研究委員会報告	2018	1,000	5,000

## 公益社団法人 地盤工学会関西支部

〒540-0012

大阪市中央区谷町1-5-7 ストークビル天満橋801

Tel: 06-6946-0393 Fax: 06-6946-0383

E-mail: [office@jgskb.jp](mailto:office@jgskb.jp) URL: [www.jgskb.jp](http://www.jgskb.jp)

## 入会のお申し込み

個人会員、法人会員へのご入会をお待ち申し上げます。インターネットから簡単に入会できます。

→ [www.jiban.or.jp/](http://www.jiban.or.jp/) 「入会案内」へgo!!

## 寄付のお申し込み

何卒、地盤工学会の活動意義に対しましてご理解いただき、ご寄付のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。寄付者には税制上の優遇措置があります。

## 沿革

- 1949 日本土質基礎工学委員会が土質工学会の前身として発会
- 1958 社団法人土質工学会関西支部が発足
- 1987 第8回アジア地域会議(京都)を開催
- 1995 土質工学会が社団法人地盤工学会に改名
- 2005 第16回国際地盤工学会議(大阪)を開催
- 2010 地盤工学会が公益社団法人として認定

## 表彰事業

支部活動の活性化等を図るため、支部会員の地盤工学の学術・技術の向上・普及に貢献した活動を表彰する制度に対し、その選考を行っています。

地盤技術賞、社会貢献賞、学術賞、学術奨励賞



地下鉄谷町線「天満橋」駅 ④番出口より徒歩1分  
京阪電鉄「天満橋」駅 より徒歩3分